



ボート同好会

息を
合わせて

那覇工・ボート

初の県総体胸弾ませ

砂川・坂元ペア練習に汗

那覇工ボート部の「でこぼこコンド」が初の県総体に胸を弾ませ、練習に汗を流している。3年ぶりにエントリーがあったボートの女子ダブルスカルに出場するのは、那覇工の砂川琳音・坂元月華ペア。競技を始めて約半年と、技術はまだ粗削りだが、「とても頑張る屋でこの2人ならやつて

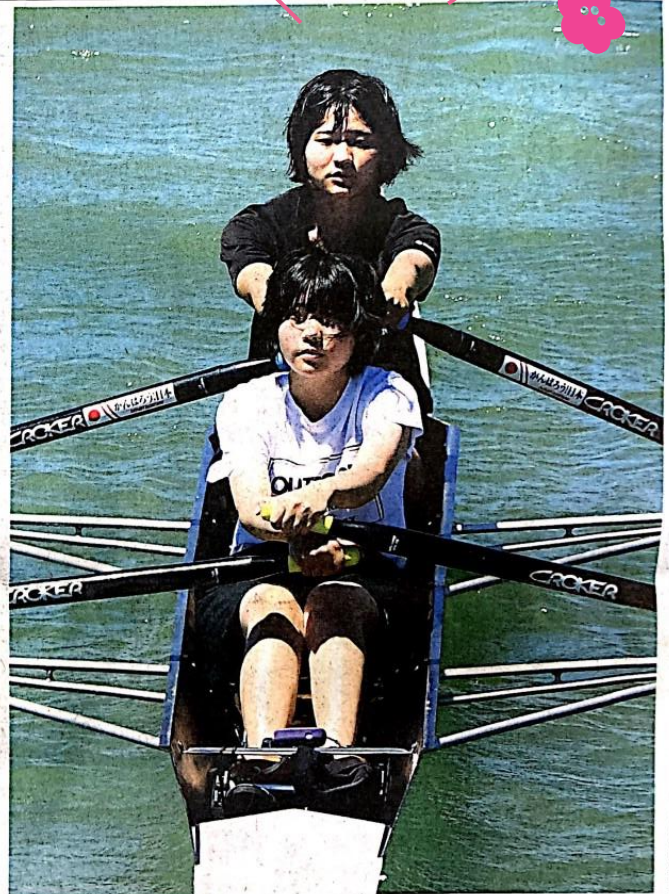
くれる」と、競技に誘った一島雅一監督の期待も高まる。5分台での完走を目標に掲げ、息を合わせてオー

らんまん坂元が後ろで力加減を調整する。当初はパランスをとるのも容易ではなく転覆もあったが、坂元は「リズムも合ってきた。できないことができるようになると、もっと（ボートが）楽しい」と成長を実感している。

一島監督は、4月から全日制から定時制に勤務が変わったため、指導できる時間が大幅に減った。上達への「近道」とされる水上練習も週末のみに。それでも「一生懸命頑張ってくれるので、できる限り応援する」と、2人の成長を後押しし目配りを欠かさない。

初の大会出場を前に、緊張しっぱなしという砂川は「こぎ方や細かい部分を確認し、無事に完走できるように準備したい」と意気込む。びたりと息を合わせ、ゴールへ突き進む練習に余念がない。

(上江洲真梨子)



息を合わせてボートをこぐ沖縄工業の砂川琳音(手前)と坂元月華=16日午前、沖縄市海邦(喜瀬守昭撮影)

琉球新報 2021 年 5 月 28 日版にて、本校ボート同好会の紹介がありました。是非お読みください。